



JSQC ニュース

No.233

発行 社団法人 日本品質管理学会

東京都杉並区高円寺南1-2-1 (財)日本科学技術連盟東高円寺ビル内

電話:03(5378)1506 FAX:03(5378)1507

ホームページ:www.jsqc.org/

CONTENTS

- 1-トピックス「国立情報学研究所との覚え書きの締結」
- 2-私の提言「研究発表と特許申請」
- 2-学会ホームページをリニューアルしました
- 3-社団法人日本品質管理学会 第31年度事業計画 / 10月の入会者紹介
- 4-新規研究会を受付けます / 本部・支部 / 行事案内

「国立情報学研究所との覚え書きの締結」

中央大学教授 中條 武志 投稿論文審査委員会

品質誌の論文・記事が電子図書館で検索・読めるようになりました。

1. NACSIS-ELSとは

日本品質管理学会は、2001年8月 日付けで国立情報学研究所(以下NIIと略す)と電子図書館サービス(NACSIS-ELS)に係る覚書を締結しました。NACSIS-ELSは、日本の学協会が発行する学術雑誌から論文・記事を探し、表示したり印刷したりすることができるサービスで、大学等の教員・院生の他、学会の正会員なども利用できます。

今回の締結により、自分のワークステーションやパソコンを使って、品質誌の論文・記事をタイトルや著者名などから検索できるようになります。また、NIIへ利用登録することにより、本文を表示したり、印刷することもできます。

2. 検索サービスの利用

検索についての利用方法は簡単です。Internet ExplorerやNetscapeなどのWeb閲覧ソフトを用いて、NIIのホームページhttp://www.nii.ac.jp/index-j.htmlにアクセスし、サービスの一覧にある【NACSIS-ELS】をクリックしてください。

検索は雑誌名からと論文名・著者名からの両方ができます。雑誌名からの

検索を選んで、「対象項目」を「Journal」、「検索語」を「品質」にして【検索開始】を押すと、収録雑誌として「品質」が表示されます。

ここで、【一覧】を押すと収録されている巻・号のリストが表示されます。見たい巻・号の【表示】を押すと目次が表示され、一つ一つの論文・記事の表示・印刷ができるようになります。

論文名・著者名からの検索を選ぶと、論文名、著者名、雑誌名、年、巻、号、キーワードおよびこれらを組合せた検索ができます。

3. 表示・印刷サービスの利用

論文・記事の本文を表示・印刷するためには、利用登録が必要となります。NACSIS-ELSのページの【利用申請】をクリックし、「国立情報学研究所情報検索 / 電子図書館利用申請書」をダウンロードし、印刷・記入の上、NIIまで郵送で送って下さい。1~2週間で、利用者番号とパスワードが送られてきます。なお、利用申請書の所属学会の一覧には必ず「日本品質管理学会」を書くようにしてください。これにより品質誌の著作権使用料が無料となります。

また、企業等に所属されている人の場合には、「利用者証明等記入項目」に

学会の正会員であることの証明が必要となりますので、返信用封筒を同封の上、JSQC事務局宛郵送で依頼してください。

利用者番号とパスワードを使って実際に頁を表示・印刷するためにはプラグインソフトウェアが必要です。これはNACSIS-ELSのページから簡単にダウンロードできますので、使用しているOS等を確認した上で、インストールしてください。

本文を表示させると最初は解像度の低い画面で表示されますので、【画像切替】のボタンをクリックしてください。【前頁】や【次頁】のボタンで頁を送ることができます。

4. 今後の予定

現在は、品質Vol.28、No.1(1998)~Vol.31、No.3(2001)が収録されていますが、最終的にはVol.1以降すべての論文・記事が利用できるような予定です。また、新たに発行される巻・号については2ヶ月後に順次収録されます。NACSIS-ELSには、日本経営工学会、日本オペレーションズリサーチ学会、信頼性学会、日本統計学会などの雑誌も収録されています(一部有料)。是非一度利用してみてください。

私の提言

研究発表と特許申請

東京工業大学教授 圓川 隆夫



ソフトやビジネスモデルの特許も当たり前化している昨今である。筆者の身の回りでも授業の演習の課題から出た学生のアイデアの特許出願や同時にベンチャーキャピタルの支援による株式会社の話もある。一方、大学の学生や研究者にとって自分の研究成果を大学や学会の研究集会で発表するのは重要かつ当然の行為である。それが特許庁の指定を受けた学会でなく、大学が開催する博士論文や修士論文、あるいはセミナー、シンポジウムにおいて発表してしまったために、それが公知の発明となり、

特許取得が出来なくなったという事例が起きている。

米国の先発主義に対して世界の趨勢である先出願主義をとるわが国では、発表の前に出願すれば問題はないのだが、特に時間的に切羽つまった状況で行われる修士論文ではそうはいかない。これは大学が「特許法第30条に基づく新規性喪失の例外」による指定を受けられないための問題である。この指定を受けた学術団体の研究発表では、発表の証明文書(予稿集や発表原稿)の管理を適切にすれば、発表後6ヶ月の出願の権利保全確保出来る。多くの学会ではこの指定団体として認可されている。

筆者の大学はこれが問題なり、大学も指定団体となれるよう特許庁に交渉

したところ案外素早い対応がなされ、近々にも特許法30条に基づく新規性喪失の例外とする指定基準の改正が行われることになった(平成13年末か14年はじめ)。ただしこれにより自動的に各大学が指定されるのではなく、個別に特許庁に対して指定申請を行う必要がある。

ところでこの騒動で、わが日本品質管理学会が指定団体になっているか特許庁のホームページ(<http://www.jpo.go.jp/indexj.htm>)で調べると、何とないではないか。慌てて事務局に指定申請をすべく建議した次第である。いくつかの経営工学関連の学会でも同様であり、学会設立された頃には特許はハード中心でその必要性はなかったことによると思われる。しかしながら現在は冒頭に述べたように状況は大きく異なる。指定を受けるとともに研究発表だけでなく、研究会での発表はどうするか等の管理、運営ルールも整備する必要が急務であろう。

学会ホームページをリニューアルしました



ウェブサイトのリニューアルに際して、まずサイト構造を再検討しました(各ページ名を改良

カテゴリ分け 階層化)。

次に新しいサイト構造に合ったナビゲーションを設置しました。ナビゲーションは皆様がサイト内を移動する際の操作の手間を軽減したり、サイト内の『所在地』を直感的に知っていただく事を目的としています。これは検索エンジンや今回設置したサイト内検索の検索結果等から、ページの奥深くに直接リンクして来られた方が『所在地』をすぐに認識できる

という点で、特に効果的です。その他の主な変更点としては

- (1) トップページにサイトマップを設置、
- (2) トップページにサイト全体のキーワード検索を設置(『学会誌「品質」』、『JSQCニュース』、『ルポ-会員による活動報告』はそれぞれ個別にも検索可)
- (3) 『授賞の記録』、『名誉会員一覧』を設置
- (4) 英語版のサイトを設置、が挙げられます。(1)(2)は、より短時間で迷わず目的のページへ到達していただく為の工夫です。皆さまのアクセスをお待ちしております。

(広報委員会)

社団法人日本品質管理学会第31年度事業計画

行事 / 月		H13 10月	11月	12月	H14 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
研究発表会							第68回 関西		第69回 25日(土)			第70回 中部			
年次大会・通常総会		第31回 26(金)・27(土) 山梨大学												第32回 電気通信大学 26日(土)	
講演会					第81回 関西			第82回 中部		第83回 中部	第81回 関西				
ヤングサマーセミナー												第10回			
シンポジウム						第84回 本部 26日(火)			第85回 関西	第86回 中部	第87回 本部		第88回 本部		16AQS 15日(金) -16日(土)
事業所見学会	本部	年次大会 A:横河電機 B:サントリー 美の丘ワイ ナリー	第275回 30日(金) 太鼓館			第277回		第281回		第285回			第286回		
	中部				第276回			第279回					第283回		
	関西					第278回 5日(火)			第280回		第282回		第284回		
クオリティパブ					第27回 15日(火)		第28回 13日(水)		第29回		第30回		第31回		
30周年記念公開講座		第3回 12日(金)	第4回 19日(月)	第5回 4日(火)	第6回 17日(木)	第7回 15日(金)	第8回 15日(金)								
理事会		328回		329回 4日(火)		330回 12日(火)		331回 23日(火)			332回 9日(火)		333回 3日(火)	334回 15日(火)	
庶務・会員サービス 規程・会計・合同委員会		9日(火)	27日(火)			5日(火)		16日(火)			2日(火)	27日(火)		8日(火)	
投稿論文審査委員会		編A 18日(木)	12日(月)	10日(月)	11日(金)	18日(月)	18日(月)	17日(水)	17日(金)	11日(火)	15日(月)	20日(火)	19日(木)	11日(金)	
編集委員会		編B 3日(水)	9日(金)	11日(火)	31日(木)		12日(火)								
事業委員会		17日(水)	28日(水)	20日(木)	22日(火)	20日(水)	15日(金)								
広報委員会				3日(月)											

2001年10月の入会者紹介

2001年10月の理事会において、下記のとおり正会員24名、準会員11名、賛助会員3社3口の入会が承認された。

(正会員)24名 稲垣 雅美(電機安全環境研究所) 佐伯 美佳(戸田中央総合病院) 松山 祐治(元・三井化学) 鈴木 督久(日経リサーチ) 阿部 弘(大塚製薬

工場) 尾辻 正則(住友重機械工業) 岡崎 昭彦(京都工芸繊維大学) 加藤 英之(日本電気システム建設) 増田 泰三(アルマ経営研究所) 松尾 茂文(松下電器産業) 大石 洋司・大森 薫(練馬総合病院) 井原 惇行・遠藤 直見・小関 隆文・横山 弘士(日本電気) 安随 正巳・大畑 丞・藺田 俊江・田中 貢・三上 忠男・矢口 里美(日本科学技術連盟) 小山 薫(日科技連出版社) 阿部 祐

子(日本品質管理学会)

(賛助会員3社3口)

エヌ・ティ・ティ・ファシリティーズ(尾形 努) 日科技連出版社(小山 薫) コーセー狭山事業所(高橋 憲二)

正会員:3071名
準会員:88名
賛助会員:193社、217口
公共会員:21口

新規研究会を受付けます

研究開発委員会では、本年度に設置する新規公募研究会の申請を受け付けます。奮って申請してください。

とくに若手会員を主査とする研究会を歓迎いたします。

研究期間

2002年4月～2003年3月(1年間)

申請方法

「新規研究会設置申請書」を事務局へご請求ください。申請書にご記入の上、郵送で本部事務局宛にお送りください。

申込締切

2002年2月7日(休)必着なお、来年度(2002年10月～2003年9月)新設の研究会については、2002年6月に申請を受け付けます。

研究会の申請と運営

研究会の申請にあたり、申請者は共同研究者(学界・産業界)を8～10人位事前に働きかけて集め、申請書に記入する。理事会承認後JSQCニュースでメンバーを公募する。

研究目的と年間の研究活動計画を作成する。

1 研究会のメンバーは20人まで。

会場は原則として日本科学技術連盟東高円寺ビル会議室。

時間は18時～20時。ただし会場の都合がつけば午後でも可。食事支給。

研究会運営費は一人1回当たり1150円(内訳：通信費・資料代・食事代)ただし年間開催数は11回を限度とする。

事務局連絡先

[本部]

〒166-0003
東京都杉並区高円寺南1-2-1
(財)日本科学技術連盟
東高円寺ビル内
TEL03-5378-1506
FAX03-5378-1507
E-mail: apply@jsqc.org

[中部支部]

名古屋市中区栄2-6-1
白川ビル別館7階
(財)日本規格協会 名古屋支部内
TEL052-221-8318
FAX052-203-4806
E-mail: nagoya51@jsa.or.jp

[関西支部]

大阪市北区堂島浜2-1-25
中央電気倶楽部
(財)日本科学技術連盟
大阪事務所内
TEL06-6341-4627
FAX06-6341-4615
E-mail: a-kobayashi@juse.or.jp

行事案内

第27回クオリティバブ(本部)

日時：2002年1月15日(火)

18:00～20:00

会場：(財)日本科学技術連盟

東高円寺ビル5階

テーマ：「進化するeラーニング」
- 教育スピードと教育機会の
拡大で高競争力の基盤をつくる
IT学習システム -

ゲスト：白井 建彦氏(日本電気(株)NEC
ソリューションズEラーニング
事業部事業部長代理)

会費：会員2000円 非会員2500円

準会員・学生一般1500円

(含軽食)

申込：同封の申込用紙で本部事務局
までお申込みください。

30周年記念ISOマネジメント・システム
公開講座 第6回

日時：2002年1月17日(木)

18:00～20:00(質疑30分含)

会場：(財)日本科学技術連盟

東高円寺ビル 2階講堂

テーマ：事後的なリスクマネジメント
による問題

森宮 康氏(明治大学 商学部長)

公開講座 第7回

日時：2002年2月15日(金)

18:00～20:00(質疑30分含)

会場：(財)日本科学技術連盟

東高円寺ビル 地下1階講堂

テーマ：グローバル市場が求める企業
倫理マネジメント

高 巖氏(麗澤大学)

参加費：6回、7回各々学会員3000円

非会員5000円

申込方法：氏名・所属・連絡先・参加希
望回を明記の上FAXまたは
E-mailにて、お申込ください。

FAX. 03-5378-1507

E-mail: apply@jsqc.org

第278回事業所見学会(関西支部)

日時：2002年2月5日(火)

8:20～18:00

見学先：関西電力(株)大飯原子力発電所
(福井県大飯郡大飯町大島)

テーマ：「原子力発電所における品質管理」

定員：30名

締切り：1月22日(火)

申込方法：同封の申込書にて、関西支部
事務局宛お申し込みください。

(但し、昼食はご自弁いただきます)

第84回シンポジウム(本部)

日時：2002年2月26日(火)

9:50～17:40

会場：(財)日本科学技術連盟

千駄ヶ谷本部1号館3階講堂

テーマ：「企業の社会的信頼性」
- 透明性とアカウンタビリティ -

基調講演：水谷 雅一氏

(経営倫理学会 会長)

事例発表：小池 裕子氏

(中央青山監査法人

環境監査部 副部長)

川村 邦夫氏(大塚製薬 顧

問(財)適応性認定協会審査員)

中村 暢彦氏(日本電気(株)

企業行動推進部マネージャー)

平野 学氏(ジョンソン&ジョ

ンソン 人事総務本部ディレクター)

参加費：会 員5000円(締切後5500円)

非会員7000円(締切後7500円)

準会員2500円

学生(一般)3500円

申込方法：同封申込書に所定事項をご記
入の上、本部宛お申込下さい。

申込締切：2002年2月15日(金)